

2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2024年1月31日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5334 URL <https://www.ngkntk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 尊
問合せ先責任者 (役職名) グローバル戦略本部財務戦略室長 (氏名) 富田 裕樹 (TEL) 052(218)6399
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	455,869	8.7	87,900	9.1	95,462	14.1	68,112	15.7	68,324	15.1	84,499	34.2
2023年3月期第3四半期	419,211	17.0	80,597	47.2	83,665	44.9	58,879	41.9	59,374	41.2	62,984	40.7

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	337	86	—	—
2023年3月期第3四半期	292	06	—	—

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	
2024年3月期第3四半期	927,154		607,819		607,224		65.5	
2023年3月期	903,102		563,739		563,675		62.4	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年3月期	—	83.00	—	83.00	166.00
2024年3月期	—	80.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	607,000	7.9	110,000	23.3	116,000	24.2	81,000	22.2	400	65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	204,175,320株	2023年3月期	204,175,320株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,278,240株	2023年3月期	873,688株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	202,230,948株	2023年3月期3Q	203,295,295株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書.....	7
要約四半期連結包括利益計算書.....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記).....	14
(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記).....	14
(セグメント情報).....	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国及び欧州においては、既往の金融引き締めが企業の経済活動を下押ししていますが、底堅い雇用情勢やインフレ圧力の緩和を受けた実質所得の増加が個人消費を下支えし、景気は緩やかに持ち直しの動きを見せています。

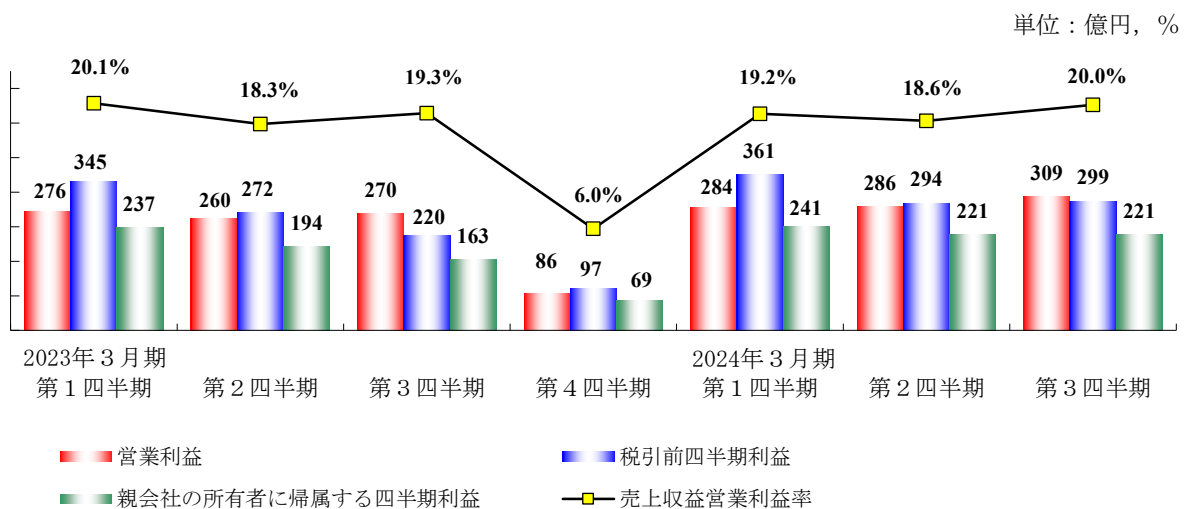
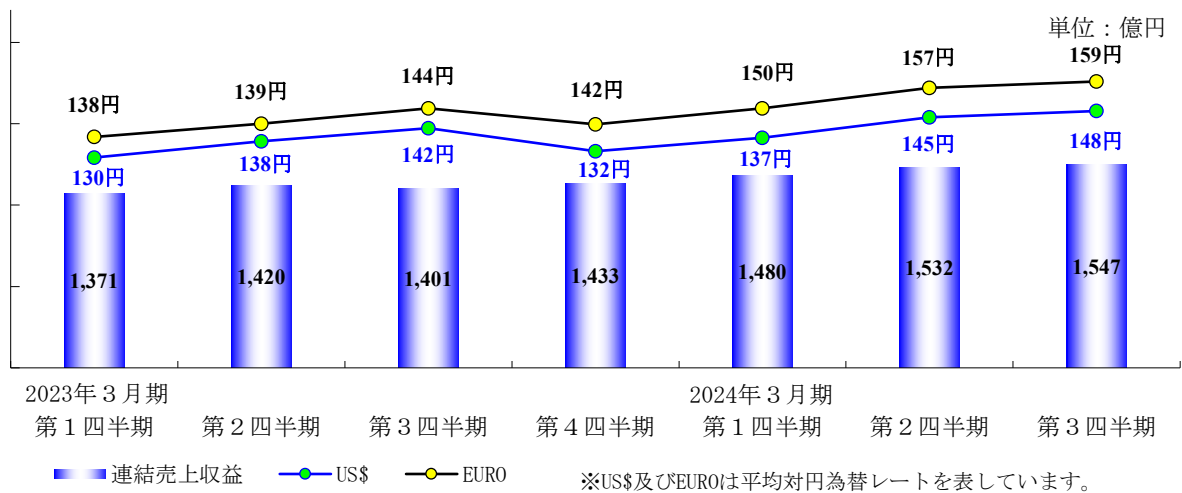
中国においては政府による消費喚起策や金融緩和などの景気浮揚策が打ち出されているものの、不動産不況や輸出の弱さ、個人消費の低迷が景気を下押ししています。

わが国経済においては、世界的な外需の低迷を背景に輸出は伸び悩みを見せていますが、好調な企業収益を起点に、個人消費や設備投資などの内需主導で緩やかに回復の動きを見せています。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車生産は、コロナ禍からのリバウンド需要や半導体不足の解消等により、前年同期比で増加する結果となっています。中国においては、EV車の伸長による増加の一方で、政府補助金の打ち切りや価格競争力での課題を背景に、一部で内燃機関連搭載車への回帰の動きも見られています。

半導体製造装置業界においては、半導体需要の軟化や米中対立を起点とする規制強化懸念の高まりが継続していることなどを背景とし、市況は一時的に低迷していますが、生成AI関連の需要拡大や関連設備投資の継続など、一部で回復の兆しも見られます。

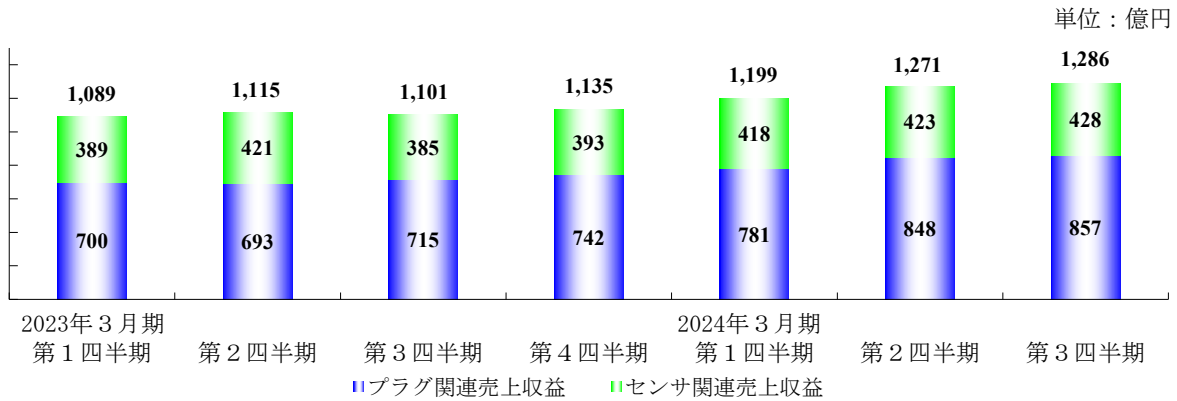
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上収益は4,558億69百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は879億円（前年同期比9.1%増）、税引前四半期利益は954億62百万円（前年同期比14.1%増）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は683億24百万円（前年同期比15.1%増）となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、補修用製品の販売が落ち着きをみせる一方で、半導体供給不足の緩和による自動車生産が回復傾向にあることから、新車組付け用製品の販売は底堅く推移しています。また、為替レートが円安に推移していることも当社利益を押し上げる要因となっています。

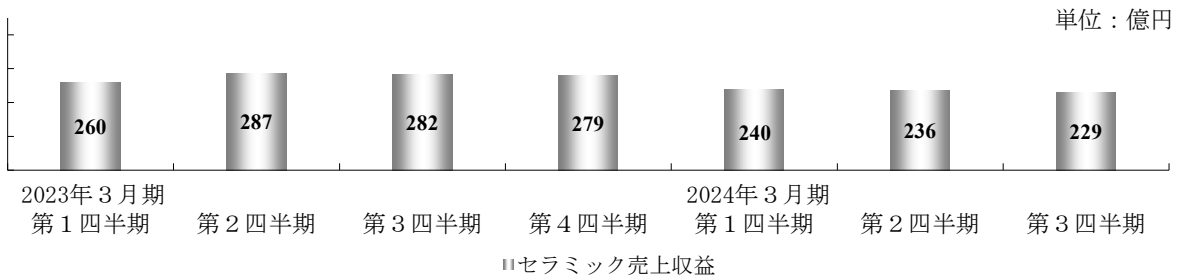
この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は3,756億2百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は960億34百万円（前年同期比23.0%増）となりました。



〈セラミック〉

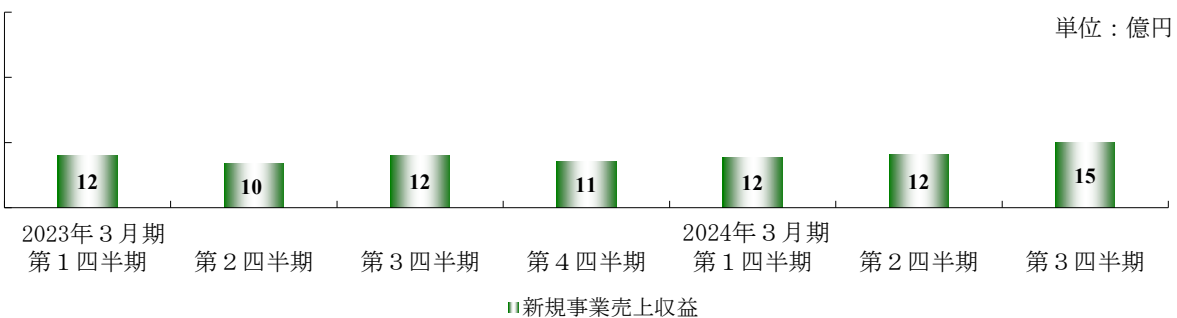
当事業は、SPE事業については半導体の生産調整や半導体製造装置向けの投資抑制などの市況の低迷による影響を受けています。呼吸器事業についても、酸素濃縮器のコロナ特需の一巡や中国メーカーが米国市場に参入した影響を受けており、セラミック事業全体で前年度と比べ落ち込む結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は703億92百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は14億99百万円（前年同期比84.8%減）となりました。



〈新規事業〉

新規事業については、当第3四半期連結累計期間の売上収益は38億99百万円（前年同期比13.8%増）、営業損失は98億6百万円（前年同期は95億25百万円の営業損失）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び資本の状況)

	流動資産	非流動資産	資産合計	負債合計	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期第3四半期	525,138	402,015	927,154	319,334	607,819
2023年3月期	567,188	335,913	903,102	339,363	563,739

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比240億52百万円増加の9,271億54百万円となりました。これは、主として現金及び現金同等物並びに売却目的で保有する資産が減少した一方、投資有価証券並びに営業債権及びその他の債権、持分法で会計処理されている投資、のれん及び無形資産が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比200億28百万円減少の3,193億34百万円となりました。これは、主として社債及び借入金並びに営業債務及びその他の債務が減少したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比440億80百万円増加の6,078億19百万円となりました。これは、主として自己株式の取得により減少した一方、四半期利益の計上による利益剰余金の増加並びに為替換算調整の影響によりその他の資本の構成要素が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期第3四半期	82,962	△75,928	△54,274	161,472
2023年3月期第3四半期	43,392	△28,515	△30,436	157,228

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比395億70百万円増加の829億62百万円となりました。これは、主として営業債権及びその他の債権の増加により資金が減少した一方、棚卸資産の増減により資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比474億13百万円増加の759億28百万円となりました。これは、主として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が減少した一方、投資有価証券の取得による支出並びに有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比238億37百万円増加の542億74百万円となりました。これは、主として社債の償還並びに自己株式の取得による支出が増加したことによるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額46億7百万円と売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額24億76百万円を加算した純額で401億55百万円減少し、1,614億72百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月30日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	201,628	161,472
営業債権及びその他の債権	123,620	133,779
その他の金融資産	18,166	19,446
棚卸資産	192,308	191,709
その他の流動資産	16,347	18,176
小計	552,071	524,585
売却目的で保有する資産	15,117	553
流動資産合計	567,188	525,138
非流動資産		
有形固定資産	223,028	224,434
のれん及び無形資産	45,006	49,710
使用権資産	10,441	10,047
持分法で会計処理されている 投資	7,540	14,879
その他の金融資産	35,398	88,940
繰延税金資産	12,628	12,306
その他の非流動資産	1,870	1,696
非流動資産合計	335,913	402,015
資産合計	903,102	927,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	56,569	53,265
社債及び借入金	29,686	41,113
その他の金融負債	3,879	3,527
未払法人所得税	15,133	12,439
その他の流動負債	46,349	44,730
小計	151,617	155,075
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	2,290	128
流動負債合計	153,907	155,204
非流動負債		
社債及び借入金	156,735	135,717
退職給付に係る負債	11,693	11,716
その他の金融負債	8,336	7,908
繰延税金負債	3,208	4,278
その他の非流動負債	5,480	4,508
非流動負債合計	185,455	164,130
負債合計	339,363	319,334
資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	55,522	55,561
利益剰余金	420,195	455,809
自己株式	△1,727	△9,698
その他の資本の構成要素	41,815	57,682
親会社の所有者に帰属する持分合計	563,675	607,224
非支配持分	63	595
資本合計	563,739	607,819
負債及び資本合計	903,102	927,154

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	419,211	455,869
売上原価	△262,150	△284,536
売上総利益	157,061	171,333
販売費及び一般管理費	△79,428	△87,154
持分法による投資損益	324	1,109
その他収益	3,876	3,730
その他費用	△1,235	△1,118
営業利益	80,597	87,900
金融収益	4,191	9,731
金融費用	△1,123	△2,169
税引前四半期利益	83,665	95,462
法人所得税費用	△24,786	△27,350
四半期利益	58,879	68,112
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	59,374	68,324
非支配持分	△495	△212
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	292.06	337.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	140,138	154,717
売上原価	△85,362	△95,399
売上総利益	54,775	59,318
販売費及び一般管理費	△28,356	△30,260
持分法による投資損益	△33	334
その他収益	1,086	1,872
その他費用	△473	△374
営業利益	26,997	30,890
金融収益	2,293	3,121
金融費用	△7,341	△4,126
税引前四半期利益	21,950	29,885
法人所得税費用	△5,835	△7,828
四半期利益	16,114	22,057
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,288	22,138
非支配持分	△173	△80
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	80.12	110.19
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	58,879	68,112
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△3,038	1,028
確定給付制度の再測定	5	89
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	5	94
純損益に振り替えられる ことのない項目合計	△3,027	1,212
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,830	14,533
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	302	641
純損益に振り替えられる 可能性のある項目合計	7,133	15,174
その他の包括利益 (税効果控除後)合計	4,105	16,387
四半期包括利益	62,984	84,499
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	63,490	84,586
非支配持分	△505	△87

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	16,114	22,057
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△777	△1,838
確定給付制度の再測定	5	△1
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	0	30
純損益に振り替えられる ことのない項目合計	△771	△1,809
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△12,502	△7,905
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	317	△62
純損益に振り替えられる 可能性のある項目合計	△12,185	△7,967
その他の包括利益 (税効果控除後)合計	△12,956	△9,777
四半期包括利益	3,157	12,280
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,397	12,385
非支配持分	△239	△105

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日時点の残高	47,869	54,684	375,968	△1,754	22,394	15,156
四半期利益			59,374			
その他の包括利益					△3,033	7,143
四半期包括利益合計	—	—	59,374	—	△3,033	7,143
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		0		0		
剰余金の配当			△27,927			
株式報酬取引		132		24		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			5,587		△5,581	
所有者との取引額合計	—	132	△22,340	23	△5,581	—
2022年12月31日時点の残高	47,869	54,816	413,002	△1,731	13,779	22,300

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	37,550	514,317	3,670	517,988
四半期利益		—	59,374	△495	58,879
その他の包括利益	5	4,116	4,116	△10	4,105
四半期包括利益合計	5	4,116	63,490	△505	62,984
自己株式の取得		—	△1		△1
自己株式の処分		—	0		0
剰余金の配当		—	△27,927	△115	△28,042
株式報酬取引		—	156		156
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△5	△5,587	—		—
所有者との取引額合計	△5	△5,587	△27,771	△115	△27,887
2022年12月31日時点の残高	—	36,080	550,036	3,049	553,085

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2023年4月1日時点の残高	47,869	55,522	420,195	△1,727	14,878	26,937
四半期利益			68,324			
その他の包括利益					1,122	15,049
四半期包括利益合計	—	—	68,324	—	1,122	15,049
自己株式の取得				△8,002		
剰余金の配当			△33,106			
株式報酬取引		90		32		
子会社に対する所有持分の変動		△51				
子会社の増資による非支配持分の増減						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			395		△305	
所有者との取引額合計	—	38	△32,711	△7,970	△305	—
2023年12月31日時点の残高	47,869	55,561	455,809	△9,698	15,696	41,986

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	確定給付制度の再測定	合計			
2023年4月1日時点の残高	—	41,815	563,675	63	563,739
四半期利益		—	68,324	△212	68,112
その他の包括利益	89	16,262	16,262	125	16,387
四半期包括利益合計	89	16,262	84,586	△87	84,499
自己株式の取得		—	△8,002		△8,002
剰余金の配当		—	△33,106	△100	△33,206
株式報酬取引		—	122		122
子会社に対する所有持分の変動		—	△51	△73	△124
子会社の増資による非支配持分の増減		—	—	793	793
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△89	△395	—		—
所有者との取引額合計	△89	△395	△41,038	619	△40,418
2023年12月31日時点の残高	—	57,682	607,224	595	607,819

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	83,665	95,462
減価償却費及び償却費	28,894	29,458
減損損失	—	310
為替差損益(△は益)	△2,835	△9,075
受取利息及び受取配当金	△2,194	△3,793
支払利息	955	1,924
持分法による投資損益(△は益)	△324	△1,109
固定資産除売却損益(△は益)	△938	655
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△498
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	9,352	△2,834
棚卸資産の増減(△は増加)	△34,885	9,235
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	△1,065	△5,562
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	122	△43
その他	△4,536	△3,314
小計	76,209	110,816
配当金の受取額	1,062	1,032
利息の受取額	870	2,181
利息の支払額	△984	△1,854
法人所得税の支払額	△33,766	△29,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,392	82,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	597	△3,745
有価証券の純増減額(△は増加)	6	4,041
有形固定資産の取得による支出	△15,158	△25,348
有形固定資産の売却による収入	3,512	1,605
無形資産の取得による支出	△2,870	△1,765
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△22,390	△4,142
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	4,009
投資有価証券の取得による支出	△2,184	△52,565
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,573	1,293
その他	400	688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,515	△75,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,477	254
長期借入れによる収入	1,000	1,800
長期借入金の返済による支出	△6,402	△2,960
社債の償還による支出	—	△10,000
リース負債の返済による支出	△2,526	△2,911
自己株式の取得による支出	△1	△8,002
親会社の所有者への配当金の支払による支出	△27,868	△33,022
非支配持分への配当金の支払による支出	△115	△100
非支配持分からの払込による収入	—	793
その他	0	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,436	△54,274
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	202	4,607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,356	△42,632
現金及び現金同等物の期首残高	172,585	201,628
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	2,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	157,228	161,472

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財政状態計算書に関する注記)

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。当社はこれらについて国及び競争法当局の調査の状況、和解交渉の進展状況及び担当弁護士からの意見聴取等を踏まえて個別にリスクを検討し、将来発生する可能性がある和解金等の損失見込額を費用計上しています。競争法関連費用引当金の残高は、前連結会計年度末において0百万円、当第3四半期連結会計期間末において0百万円です。損失見込額は現時点において入手可能な情報に基づいていますが、見積り特有の不確実性があるため、今後新たな事実が判明した場合等には追加の損失が発生する可能性があります。なお、IAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」に従い、当社の立場が不利になる可能性があるため、訴訟等に係る詳細な内容を開示していません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

セグメント収益及び業績

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2	
	自動車 関連	セラミック	新規事業	計					
売上収益									
外部収益	330,432	81,450	3,426	415,309	3,902	419,211	—	419,211	
セグメント間収益	—	1,422	—	1,422	—	1,422	△1,422	—	
収益合計	330,432	82,872	3,426	416,731	3,902	420,633	△1,422	419,211	
セグメント利益 又は損失(△)	78,074	9,889	△9,525	78,438	2,158	80,597	—	80,597	
金融収益									4,191
金融費用									△1,123
税引前四半期利益									83,665

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

セグメント収益及び業績

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書 (注) 2
	自動車 関連	セラミック	新規事業	計				
売上収益								
外部収益	375,602	69,849	3,899	449,352	6,517	455,869	—	455,869
セグメント間収益	—	542	—	542	—	542	△542	—
収益合計	375,602	70,392	3,899	449,894	6,517	456,412	△542	455,869
セグメント利益 又は損失(△)	96,034	1,499	△9,806	87,726	174	87,900	—	87,900
金融収益								9,731
金融費用								△2,169
税引前四半期利益								95,462
その他の重要な項目								
減損損失	—	—	310	310	—	310	—	310

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。